

<平成 25 年度>

## 水道部の取り組み実績

上下水道経営課 水道保全課  
給水管理課 浄水課  
水道工務課  
お客さまセンター

### ■ 基本方針 ■

水道部は、市民のみなさまに安全・安心な水を安定的かつ持続的に供給すること、及び上下水道事業の安定経営を行うことを基本目標としています。このため、上下水道組織の統合を機に、上下水道事業それぞれの方向性を示すための上下水道ビジョン及び経営計画等を、平成 25 年 4 月に策定しました。これらビジョン等に基づき、より一層の経営効率化を進め、健全で安定的な経営をめざします。

#### 実績

- ・上下水道ビジョン等に基づく各種施策に取り組み、安全・安心な水を安定的に供給し、経営健全化に努めた。
- ・持続可能な水道の実現のために、アセットマネジメント（資産管理）の考え方を重要と捉え、「水道事業アセットマネジメント導入プロジェクトチーム」を部内に設置し、導入に向けた検討を行った。

### I 重点施策・事業

#### ◆上下水道事業の経営改革

上下水道ビジョンや経営計画等に基づき、より一層の経営健全化に取り組みます。特に、下水道事業会計の汚水事業については、経費削減に取り組みつつ、本来使用料で賄うべき収入の確保を図るため、平成 25 年 10 月に約 10%の増額となる使用料改定を行います。

#### 実績

- ・下水道使用料について、平成 25 年 10 月から、約 10%の増額となる使用料改定を行い、収入の確保を図った。平成 25 年度の一般会計からの繰入金は、前年度決算比で約 2 億 3200 万円減少した。

#### ◆水道料金の改定

料金区分の適正化を図るため、平成 25 年 10 月に水道の料金区分を 5 区分から 3 区分に見直しを行うとともに、市民負担の軽減のため、平均約 5%の減額となる料金改定を行います。

#### 実績

- ・平成 25 年 10 月から、水道の料金区分の変更と平均約 5%の減額となる料金改定を行った。なお、水道料金の減額後の平成 25 年度決算においても、単年度で純利益を計上した。

#### ◆老朽化した水道施設の更新・改良

老朽化した水道管の更新・改良を、耐震化及び鉛製給水管の解消とともに計画的・効率的に取り組みます。

また、浄水場の更新整備に向け、基本的な方向性を示すとともに、配水場の更新・耐震化の検討を進めます。

#### 実績

- ・計画目標である水道管路約 10km の更新を、鉛製給水管の解消とともに達成した。
- ・水道施設の根幹である中宮浄水場の更新整備に向け、基本的な方針を決定した。
- ・鷹塚山配水場、津田低区配水場及び管理棟・水質試験棟の更新・耐震化に向けた取り組みを進めた。

以上の取り組みにより、将来にわたる安全・安心な水道水の安定供給に繋げることができた。

### ◆ 応急給水拠点の整備

大規模地震等で水道が使えない時に、市民生活に最低限必要な水を確保し、応急的に給水ができる応急給水拠点の整備を進めるべく、市内 15 ヶ所の配水場等において、施設の耐震化などに取り組んでいます。平成 25 年度は、引き続き、春日受水場施設の更新と耐震化に取り組めます。

#### 実績

- ・更新・耐震化に取り組み、応急給水拠点として春日受水場の整備も併せて進め、危機管理体制の強化に繋げることができた。



< 春日受水場の更新・耐震化 施工現場 >

### ◆ 水道管の維持管理体制の確保

水道管の事故等を未然に防止するため、漏水調査を計画的に行うとともに、漏水箇所の修繕を効率的・持続的に行えるよう、将来に向けた維持管理体制の検討を進めます。

#### 実績

- ・漏水調査計画に基づき対象地区の調査を行い、道路陥没など、二次災害の防止と無効水量の減少に努めた。  
(調査件数：7,379 件、漏水件数：10 件)
- ・効率的な維持管理体制の構築に向けて、府内先進市の執行体制の状況を調査し、検討を進めた。

## II 行政改革・業務改善

### < 行政改革実施プラン（前期）の改革課題 >

改革課題	取り組み内容・目標
33. 技能労務職員等の配置基準の見直し	再任用制度の実施に伴い、上下水道施設維持管理業務に従事する技能労務職員の高齢化が進んでおり、セーフティネットの確保や効率化等の観点から検証を行い、職員配置基準を見直す。

#### 実績

- ・技能労務職員の上下水道施設維持管理業務のあり方について、取りまとめに向けた検討を進めた。

### < 事務事業総点検に係る対応 >

事務事業	取り組み内容・目標
上下水道局広報活動事業	より効率的・効果的なPRを行うため、イベントやペットボトル水のあり方など、PR内容の再検討を実施。

#### 実績

- ・PR 効果の検討を行い、従来型の「水とふれあいデー」を取りやめ、これに替わる新たなイベントを実施することとした。
- ・ペットボトル水は、PR 用としての所期の目的を一定達成したことから、平成 25 年度の製造をもって終了することとした。今後は、災害用備蓄水の計画的な配置を進める。

事務事業	取り組み内容・目標
水道管路等管理事務	業務の見直しを行い、経費を削減。
<p><b>実績</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>水道施設情報管理システムの更新業務の見直しを行い、業者委託から臨時職員による対応に変更した。 (経費縮減額：約 1200 万円)</li> </ul>	

事務事業	取り組み内容・目標
私設メータ取替費用補助事業	適正な助成金額の検討。
<p><b>実績</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>私設メータの取り扱いに係る他市状況を調査するなど、私設メータ取替費用の実態を踏まえた適正な助成金額について、検討を進めた。</li> </ul>	

事務事業	取り組み内容・目標
導・送・配・給水管改良事業	管路の維持補修について、民間活用を含めた速やかな執行体制を構築。
<p><b>実績</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>土日祝日等の宿日直業務委託の内容を拡大し、水道管口径 40 mm以下の漏水修繕業務についても、平成 26 年度から委託内容に含めていくこととし、民間活用の拡大に向けて取り組んだ。</li> </ul>	

事務事業	取り組み内容・目標
水道保全事業	民間委託の拡大及び実施方法の見直しを検討。
<p><b>実績</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>技能労務職員の水道管の維持管理業務のあり方について検討する中で、民間委託の拡大及び実施方法の見直しのため、他市調査を行った。</li> </ul>	

## <業務改善のテーマ・目標>

テーマ	取り組み内容・目標
災害時等に備えた民間関係団体等との連携	大規模災害、断水・突発事故にも対応できるよう、民間関係団体等と給水訓練等を通じた連携を図る。

<b>実績</b>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>大規模な給水活動にも対応できるよう、枚方市管工事組合、窓口・収納業務等委託業者と合同の給水訓練を、それぞれ実施し、関係団体との連携強化を図った。</li> <li>大阪広域水道企業団と府内水道事業体等との震災対策合同訓練に参加し、他事業体との連携を強化し、広域における震災対策の実効性の向上を図った。</li> </ul>	

テーマ	取り組み内容・目標
公用車事故の防止	ダンプ車や給水車など特種車両も有し、車を使用する業務が多いため、全ての公用車事故の防止をめざし、継続的な啓発を実施。

<b>実績</b>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>部内各課を対象に、事故防止のための安全衛生研修会の実施、安全運転のための順守事項の周知徹底に取り組み、公用車事故の削減に努めた。</li> </ul>	

## ●その他の実績

<b>実績</b>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>中宮浄水場から田口山配水場間の新設送水管の供用開始にあたり、必要となる洗管作業の手法を調査検討し、直営により安価に行うことができた。 ※この新設送水管は、平成 26 年 2 月に供用を開始し、送水ルート之二重化を完了させ、災害時等に備えたバックアップ体制を強化した。 (経費縮減額：約 3000 万円)</li> </ul>	

<b>実績</b>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>部内各課を対象に、事務ミスをなくす取り組み方法の職場研修を実施し、業務改善に繋げることができた。</li> </ul>	

### Ⅲ 予算編成・執行

- ◆上下水道事業会計では、事業運営に際して、より透明性が高く、事業の実態をより正確に表現できる新しい地方公営企業会計基準を、平成 25 年度から早期適用しました（地方公営企業法の改正により平成 26 年度から適用義務化）。

#### 実績

- ・新会計基準の早期適用を行い、平成 25 年度予算編成から、市民にもわかりやすい財務諸表を作成した。

- ◆資本的収支では、自己財源と起債充当率のバランスを考慮し、企業債発行額を抑制し、企業債残高の縮減を図ります。

#### 実績

- ・企業債を、約 11 億円発行する一方、約 13 億 6000 万円償還し、企業債残高を約 215 億 9785 万円に縮減した。

対前年度決算比

企業債発行削減額：1 億 9470 万円

企業債残高削減額：約 2 億 5611 万円

- ◆鉛製給水管解消事業を 3 カ年の継続事業として設定し、より効率的に鉛製給水管の解消に取り組みます。

#### 実績

- ・平成 25 年度実施予定区域内の全ての鉛製給水管について、解消に向けて取り組んだ。

- ◆平成 24 年度事務事業総点検の結果を踏まえ、水道管路等管理事務において、執行方法の見直しを行い、約 1300 万円の経費削減を図ります。

#### 実績

- ・水道施設情報管理システムの更新業務の見直しを行い、業者委託から臨時職員による対応に変更した。

（経費削減額：約 1200 万円）

### Ⅳ 組織運営・人材育成

- ◆平成 27 年度の上下水道局庁舎の完成に合わせて、水道事業、下水道事業を総合的に捉え、さらなる業務の効率化を図るため、上下水道組織の再編に向けた検討を進めます。

#### 実績

- ・上下水道組織の再編に向けて、上下水道組織を統合している先行市に対して、状況調査を行い、調査結果の分析、検討を進めた。

- ◆災害や断水などの緊急時に、速やかに対応できるよう、引き続き定期的な訓練の実施に取り組みます。

#### 実績

- ・各種応急給水訓練を 16 回実施し、職員の給水作業の習熟と危機管理意識の向上を図った。

- ◆水道事業は、水道施設の維持管理、水質管理など、高度な専門性が必要とされますが、日常業務を通じ技術・知識の向上を図る OJT を最重要な研修と位置付け、技術面だけでなく、職員としての資質の向上をめざします。

#### 実績

- ・各職場において、専門的な技術の継承と合わせ、職員の資質の向上をめざし、継続的な OJT に取り組んだ。

#### ●その他の実績

#### 実績

- ・災害時等に備えた図上訓練において、前年度の訓練実施により得られた改善策を反映し、訓練の質の向上を図った。今後も、訓練を重ね、より充実した危機管理体制の構築に努めていく。

## V 広報・情報発信

### ◆料金改定に伴う情報発信

水道料金、下水道使用料の改定内容について、上下水道事業の取り組みと合わせて、市民にわかりやすく情報発信します。

#### 実績

- ・料金改定は、市民生活に直結するため、チラシの戸別配布をはじめ、検針票など様々な媒体を通じ、安価で効果的に広く周知徹底を図った。なお、チラシには、今後の上下水道事業の老朽化対策の必要性についても記載した。

### ◆上下水道事業ガイドの作成

上下水道に関する市民の暮らしのガイドとして、「(仮称)役に立つ上下水道ガイド<保存版>」を作成し、全戸配布を行い、広く市民の利便性の向上を図ります。

#### 実績

- ・市全体の取り組み業務のガイドである「ひらかた便利帳」が、平成26年7月に発行されることから、効果・コスト面を考慮し、「ひらかた便利帳」に掲載する業務案内の充実を図ることとし、上下水道事業ガイドの発行を見送った。今後、市民ニーズを十分に把握したうえで、ガイドそのものの必要性などを検討していく。

### ●その他の実績

#### 実績

- ・平成25年7月、第82回日本水道協会関西地方支部総会が本市で開催(参加人数約500名)され、これと合わせて市民向けに「水とふれあいデー」を同時開催し、本市水道を広く内外にPRした。
- ・平成25年10月、本市水道事業が80周年を迎えたことから、上記イベントと合わせ、80年のあゆみを整理し、職員の手引きとしても活用できる「枚方の水道80年」を発行した。



<水とふれあいデー>

枚方の水道80周年



上下水道局マスコットキャラクター  
「アクリン」